

令和6年度 北海道旭川盲学校 グランドデザイン

教職員が取り組む
4つのW

HEART WORK

子どもたち一人一人の
心に寄り添う取組

TEAM WORK

教職員が一体になって
目標達成に向かう取組

NET WORK

視覚障害のセンターとして
の役割や地域と共に
子どもを育てる取組

LIFE WORK BALANCE

自身の生活を大切に、
生き生きと仕事ができる
ための取組

教育方針

- 1 学校教育目標の実現に向けて、子どもたち一人一人や地域の実態を踏まえ、教育課程の編成・実施・評価・改善のもと教育活動の質の向上に努める。
- 2 個別最適な学びと協働的な学びを実現するための児童生徒の実態に応じた学習指導の充実と ICT を活用した教育活動を推進する。
- 3 他者を尊重し、健康で安全に生活しようとする心身を育む人権教育及び健康・安全教育の充実に努める。
- 4 将来の自立や社会参加を目指し、子ども一人一人の発達の段階に応じた幼稚部段階からの計画的なキャリア教育を推進する。
- 5 将来の自立に向けた基本的な生活習慣の確立や集団生活におけるきまりや時間を意識した態度を育てる寄宿舎教育を推進する。

学校教育目標

自ら学び、考えを深め広げ、自らの人生を切り拓いていく子どもを育てます

主体的な学び

- ・児童生徒自身が課題を設定し、学びの意義や目的を見出し、自己実現を図る学び。

対話的な学び

- ・複数の人々がお互いに意見を出し合い、課題解決に向けた共同作業を進める学び。

深い学び

- ・現象や事象の本質的な理解を深め、高次の思考力を育成する学び。

「授業者」における
授業改善

主体的・対話的で
深い学びの実現

「学習者」における
学びの改善

コミュニティ・スクール
による地域とともに子ども
を育てる取り組み

資質・能力の獲得
自立と社会参加

個別最適な学び
協働的な学び

今年度の重点目標

視覚障害教育の専門性に基づく自立活動の指導の充実

自立活動の目標

個々の児童又は生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。
(特別支援学校小学部・中学部学習指導要領(平成29年4月告示))

自立

- ・幼児児童生徒が一人一人の障害の状態に応じて主体的に自分のもてる力を発揮し可能な限り発揮し、よりよく生きていこうとすること。

障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服

- ・幼児児童生徒の実態に応じ、障害によって生まれるつまずきや困難を軽減しようとし、解消したりしようと努めること。

調和的発達の基盤を培う

- ・幼児児童生徒の発達の遅れを改善したり、進んでいる側面を伸ばすことによって、遅れている側面の発達を促すようにしたりして、全人的な発達を促進すること。

CHALLENGE

何事にも挑戦する
子ども

COLLABORATION

仲間と共に学ぶ
子ども

CONSIDERATION

他者を思いやる
子ども

CREATE

新しい価値を
創造する子ども

子どもたちに身に付けさせたい4つのC

目指す学校像

- ・子どもたちも教職員もワクワクするような教育活動を推進する学校
- ・教職員一人一人が良さを認め合い、協働的・創造的に業務を推進する学校
- ・保護者や地域と連携・協力のもとに子どもを育てる、地域から信頼される学校

魅力あふれ

子ども・保護者・地域から
選ばれる学校

経営方針

- 1 教職員相互の信頼関係の構築と協力・協働のもと全ての教職員が心身ともに健康で、それぞれのもつ力を十分に発揮できるような職場環境づくりに努める。
- 2 教職員一人一人が学校運営への参画意識をもち、自己の業務を確実に推進するよう努める。
- 3 各種災害や不審者対応等の実際の場面を想定した訓練の実施や教務・舎務・事務の連携による危機管理体制の構築
- 4 教職公務員としての自覚と自らの行動に責任をもち、服務規律の保持・徹底に努める。
- 5 視覚障害教育のセンター校として、地域と連携したインクルーシブ教育の推進に努める。
- 6 費用対効果やコストに対する意識を高め、計画的な教材や物品の購入による適切な予算執行に努める。